

第 6 回 埼玉県八潮市道路陥没事故に対する交通マネジメント検討会

～検討会開催結果についての報告～

令和 8 年 9 月 1 0 日（木）に第 6 回 埼玉県八潮市道路陥没事故に対する交通マネジメント検討会を開催しましたので、開催結果についてお知らせします。

1. 開催日時：令和 8 年 9 月 1 0 日（木） 1 0 時 0 0 分～
2. 会議形式：WEB 会議
3. 開催結果：県道 54 号松戸草加線の暫定 2 車線供用後の周辺道路の交通状況等について共有し、別紙 1 の内容を確認しました。
4. 構成委員：別紙 2 のとおり

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ
さいたま市政記者クラブ

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局 <国管理道路の対策について>
道路部 道路計画第二課長 小田桐（おだぎり）、課長補佐 久保田（くぼた）
電話：0 4 8 - 6 0 0 - 1 3 4 2 FAX：0 4 8 - 6 0 0 - 1 3 8 5
大宮国道事務所 副所長（技） 香田（こうだ）
電話：0 4 8 - 6 6 9 - 1 2 0 0（代表）
埼玉県 県土整備部 県土整備政策課 <県管理道路等の対策について>
政策担当主幹 金川（かながわ）、政策担当主査 新井（あらい）
電話：0 4 8 - 8 3 0 - 5 0 1 8（代表）
埼玉県 県土整備部 道路環境課 <県管理道路等の対策について>
副課長 木田（きだ）、交通事故緊急対策担当主査 井上（いのうえ）
電話：0 4 8 - 8 3 0 - 5 0 9 8（代表）

< 検討会開催結果の報告 >

○令和 8 年 4 月 15 日に県道 54 号松戸草加線の暫定 2 車線供用を開始しました。検討会では、県道 54 号松戸草加線の暫定 2 車線供用後における周辺道路の交通状況、交通規制に伴う周辺地域における影響とその対応について共有し、以下の内容を確認しましたので報告します。

1. 県道 54 号松戸草加線の暫定 2 車線供用後における周辺道路の交通状況

- ・ 県道松戸草加線の交通量については、通行止め前と比較し、概ね同程度の交通量。
- ・ 県道松戸草加線に平行する迂回路の交通量については、暫定 2 車線供用前と比較し、約 2 ～ 3 割減少。
- ・ 生活道路については暫定 2 車線供用前と比較し、生活道路へ流入していた車両が減少。

2. 交通規制に伴う周辺地域における影響とその対応

○第 5 回検討会以降に実施した内容は、以下のとおり。

- ・ 周辺にお住まいの方、地元自治会、学校関係者などに交通規制等に関するお知らせを継続的に配布。
- ・ 通学路に交通誘導員を継続的に配置するとともに、学校関係者等へのヒアリング、安全点検を実施し、その結果を踏まえて、路面表示等の交通安全対策工事を実施。
- ・ 路線バス会社との調整により、事故後に運休となっていた一部のバス停を 5 月 1 日から運行再開。
- ・ 路線バス事業者等へヒアリングを実施し、「暫定 2 車線供用後、バスの定時性に問題はない」「暫定 2 車線供用後、通行止め時に発生していた渋滞が緩和している」等の意見を把握。

3. これまでの交通マネジメント検討会の成果

- ・ 道路陥没事故（令和 7 年 1 月 28 日）の直後（令和 7 年 1 月 30 日）に、官民が一体となった検討会を迅速に立ち上げ、官民で連携した交通マネジメントを実施した。
- ・ 通行止めに伴う交通を周辺地域や生活道路へ流入させないため、同検討会での意見も踏まえ、道路情報板、案内看板及び各機関の HP、SNS による情報発信により迂回路への誘導を行い、周辺道路への影響を軽減させた。
- ・ 道路陥没事故の直後（令和 7 年 2 月 1 日）に画像認識型交通量観測装置（AI カメラ）を設置し、継続的に周辺道路の交通状況及び分析を実施した。
- ・ 通行止めに伴う周辺地域への影響（生活道路への通過交通の流入等）について、同検討会での意見も踏まえ、学校関係者等へのヒアリングや安全点検を実施するとともに、交通安全対策工事を実施し、周辺地域への影響を軽減させた。

4. 今後の対応

- ・ 県道 54 号松戸草加線の周辺道路の交通状況について、引き続き観測を行い、必要に応じ対応策について検討する。
- ・ 交通規制に伴う周辺地域への影響について、引き続き、関係機関で連携した情報収集、通学路の安全点検・安全対策、バス事業者等へのヒアリングを継続的に実施する。
- ・ 交通規制のお知らせなどについて、今後とも関係機関の HP、SNS などを活用し、広く情報発信する。

埼玉県八潮市道路陥没事故に対する交通マネジメント検討会

委員名簿

久保田 尚 埼玉大学 理工学研究科 名誉教授

小嶋 文 埼玉大学 理工学研究科 准教授

埼玉県警察本部 交通部 交通規制課長

埼玉県 県土整備部 県土整備政策課 政策幹

八潮市 都市整備部 理事

国土交通省関東地方整備局 道路部 道路計画第二課長

国土交通省関東地方整備局 道路部 地域道路課長

国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所 副所長

国土交通省関東地方整備局 北首都国道事務所 副所長

一般社団法人 埼玉県トラック協会 常務理事

一般社団法人 埼玉県バス協会 専務理事

一般社団法人 埼玉県乗用自動車協会 事務局長

※関係機関に要請し追加する場合もある。

■位置図



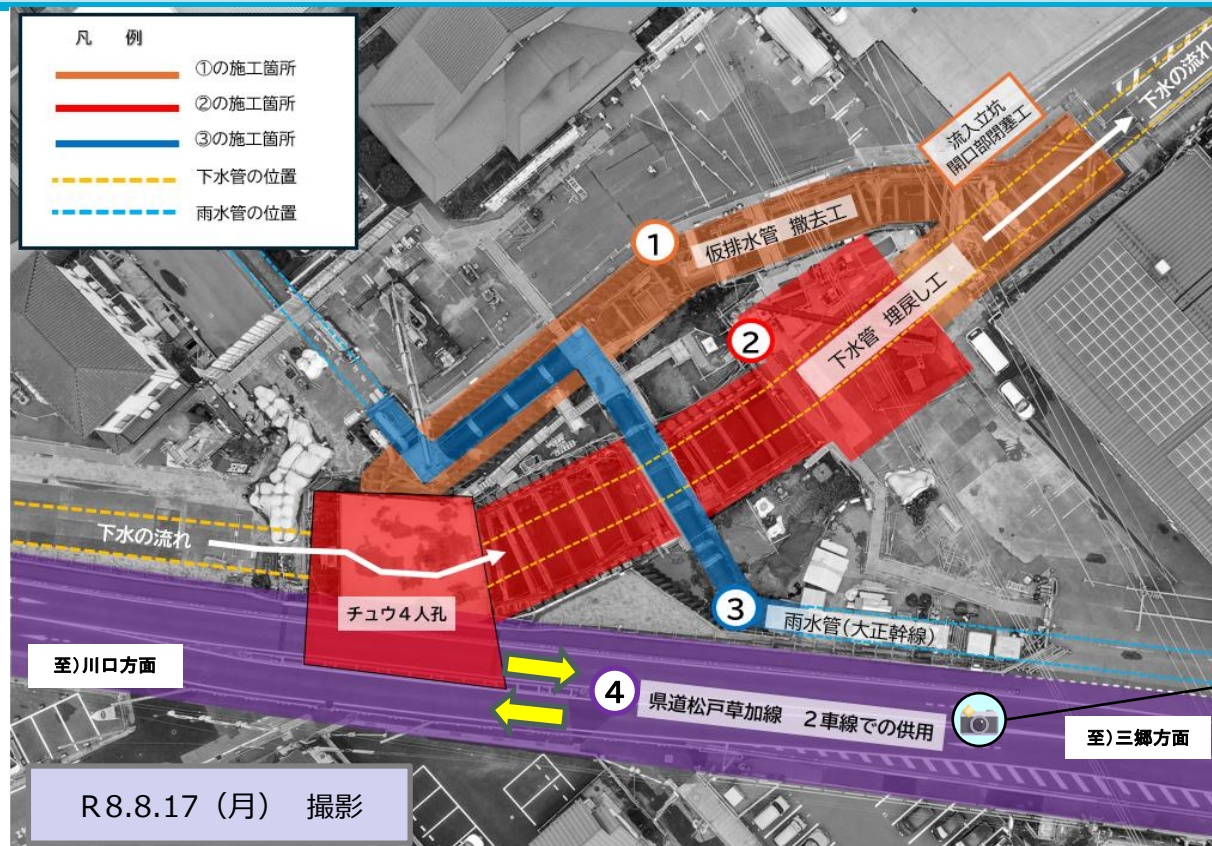
■拡大図



【流域下水道管に起因する道路陥没事故】

- 発生日時 : 令和7年1月28日（火）午前9時49分頃
- 発生場所 : 八潮市中央一丁目地内 県道松戸草加線（中央一丁目交差点内）
- 交通規制 : 令和7年1月28日（火）県道松戸草加線通行止め
 令和8年4月15日（水）県道松戸草加線暫定2車線供用
 （中央一丁目交差点に接続する八潮市道は通行止め）

陥没事故後の工事の進捗状況



出典：埼玉県資料

<現在の状況>

①仮排水管工事

⇒R7. 4月に切り回し工事が完成。現在は開口部の閉塞工実施中。

②下水道管渠復旧工事

⇒R8. 2月に新管に通水開始。現在は陥没部の埋戻工実施中。

③雨水管復旧工事

⇒R7. 6月に仮復旧工事が完成。

④道路の復旧工事

⇒R8年4月15日 県道松戸草加線暫定2車線供用開始

県道松戸草加線 2車線での供用



出典：埼玉県資料

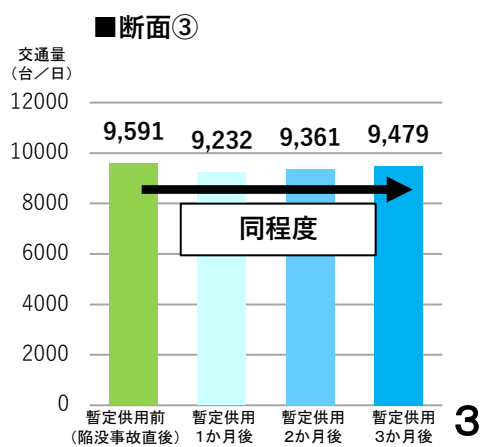
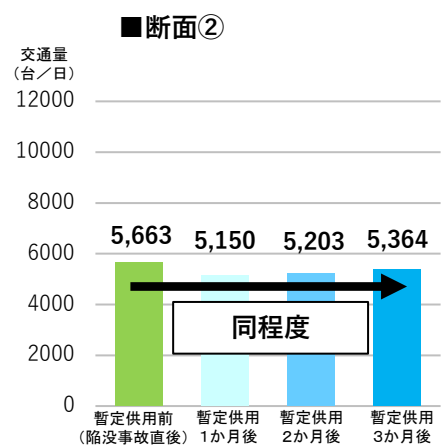
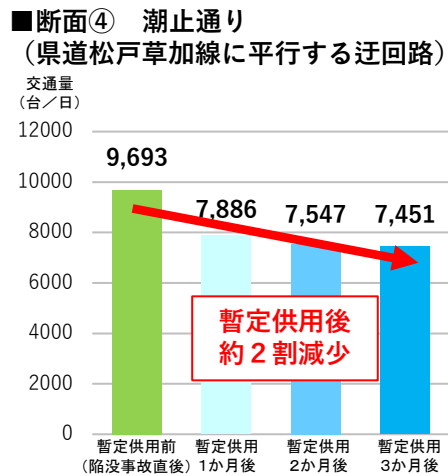
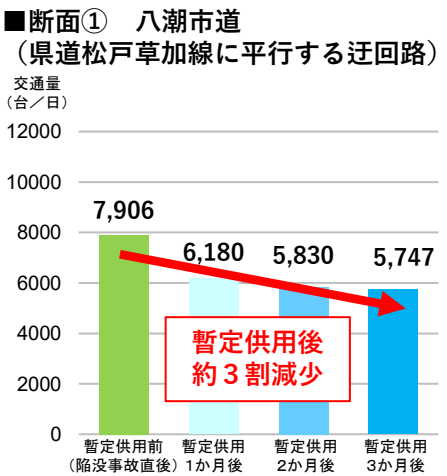
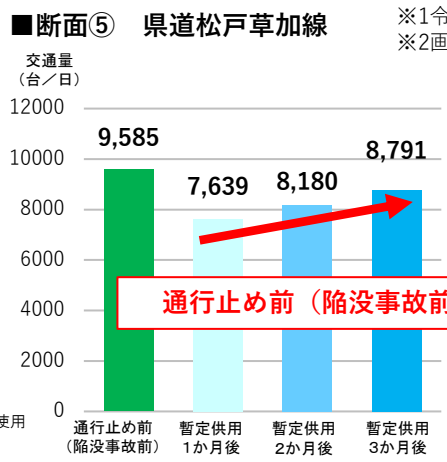
暫定2車線供用前後の断面交通量の推移(AIカメラ、月ごと平日24時間平均)

- 暫定2車線供用後、県道松戸草加線の交通量は通行止め前と比較し、概ね同程度の交通量。(断面⑤)
- 暫定2車線供用後、県道松戸草加線に平行する迂回路の交通量は暫定2車線供用前と比較し約2～3割減少。(八潮市道:断面①、潮止通り:断面④)



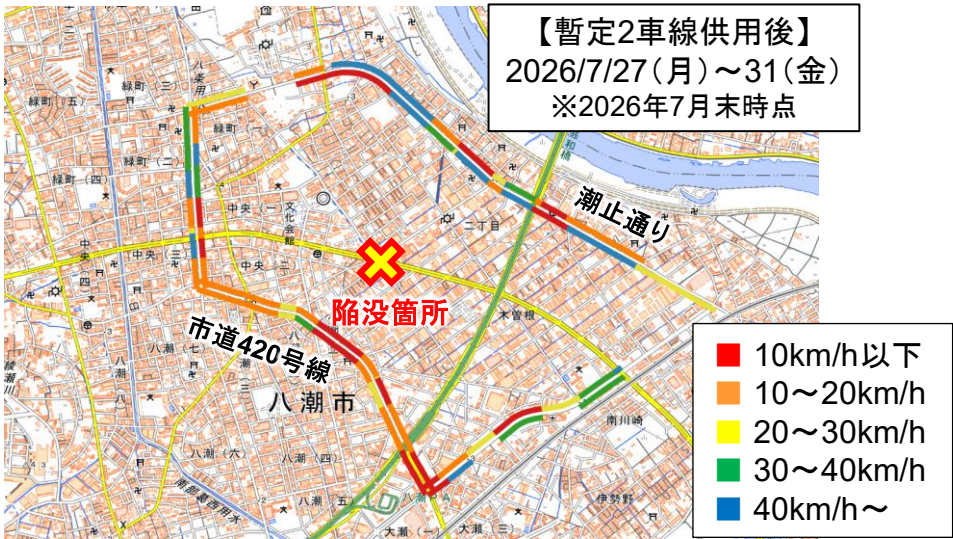
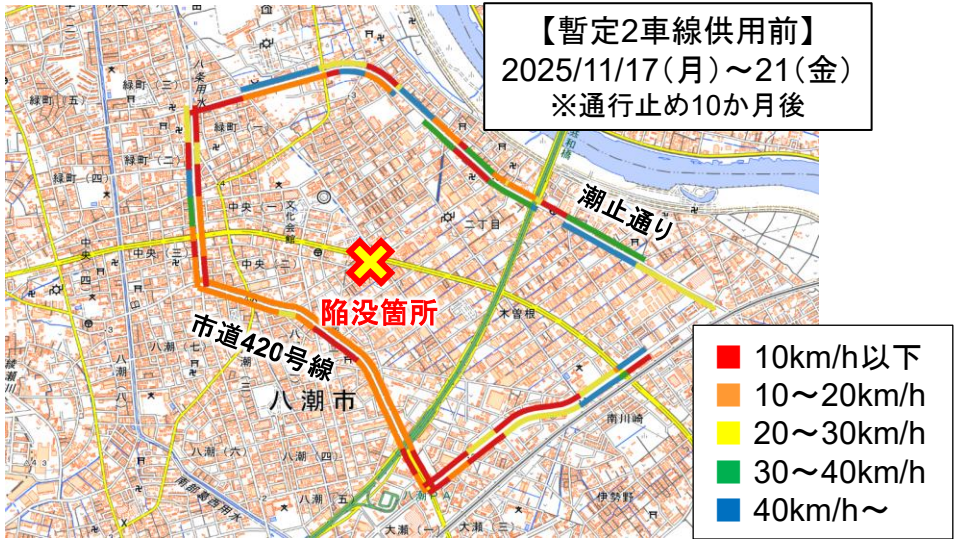
- グラフの凡例
- 通行止め前(陥没事故前) ※1
 - 暫定供用前(陥没事故直後R7.2.3～2.28) ※2
 - 暫定供用1か月後(R8.4.16～5.14) ※2
 - 暫定供用2か月後(R8.5.15～6.16) ※2
 - 暫定供用3か月後(R8.6.17～7.17) ※2

※1令和3年度全国道路・街路交通情勢調査(推定)
※2画像認識型交通量観測装置(AIカメラ)による観測値

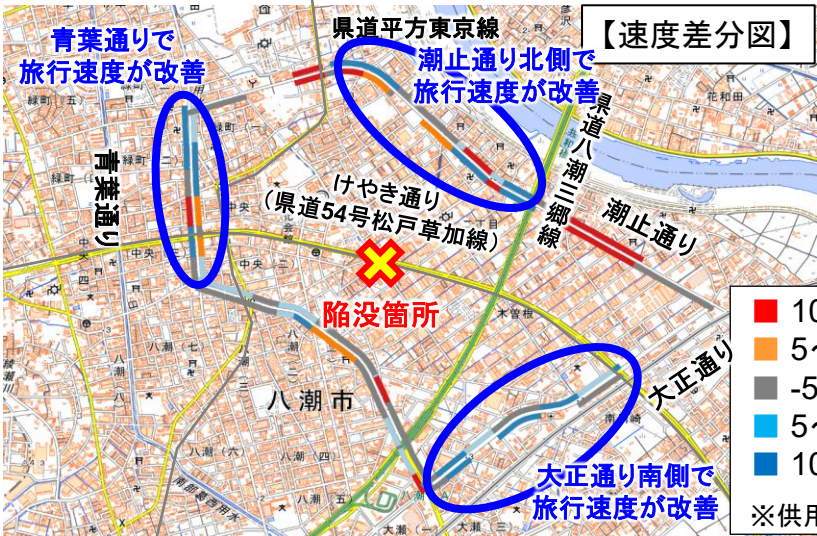


暫定2車線供用前後の周辺道路の旅行速度比較(ETC2.0プローブ、7-9時)

○朝ピークの時間帯では、県道54号松戸草加線の暫定2車線供用前後を比較すると、平行する路線の潮止通り北側、大正通り南側などにおいて旅行速度が改善。



※周辺道路の分析は、道路交通センサス対象区間(県道以上)のため、サンプル数としては充足しているが、本比較は県道未満の道路を対象としているためのサンプル数が少なく、一部マッチングされていないリンクがある点に留意

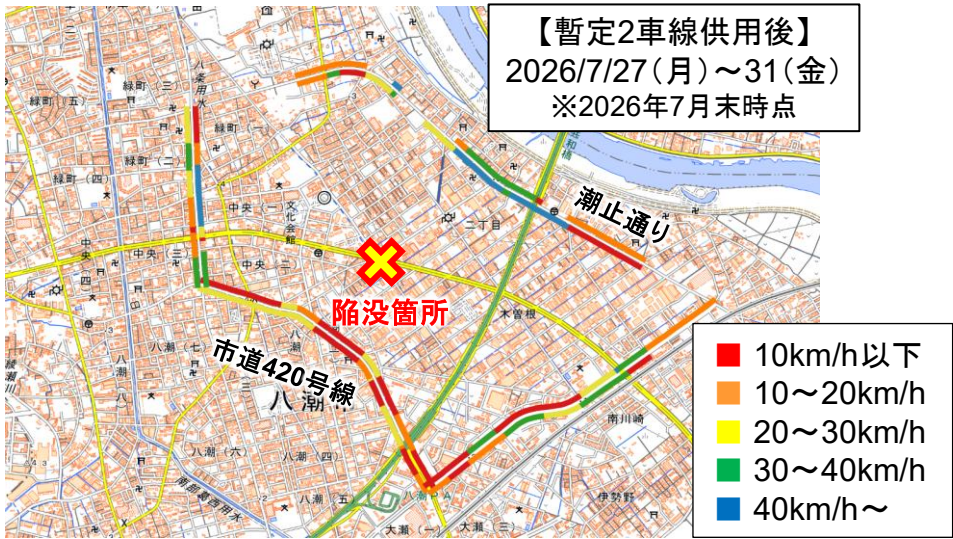
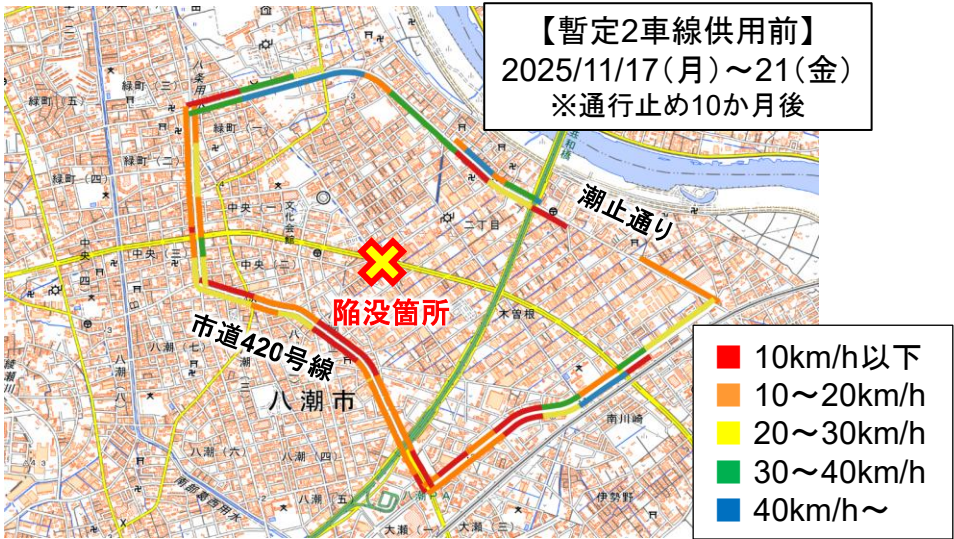


出典：国土地理院地図を加工して使用

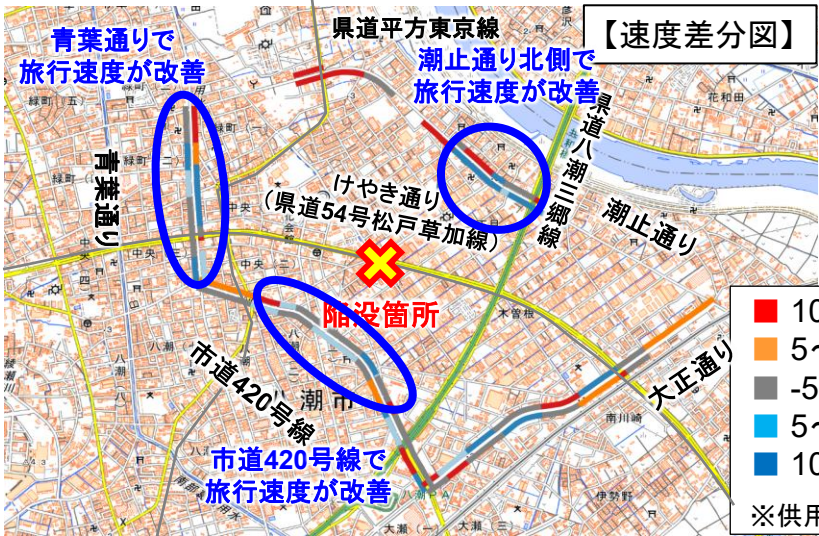
(データ)ETC2.0プローブ 様式1-2よりマップマッチング処理
【通行止め10か月後】2025/11/17(月)～21(金) 7～9時
【2026年7月末時点】2026/7/27(月)～31(金) 7～9時
※差分図は前後のいずれかで欠損がある区間は着色なし

暫定2車線供用前後の周辺道路の旅行速度比較(ETC2.0プローブ、17-19時)

○タピークの時間帯では、県道54号松戸草加線の暫定2車線供用前後を比較すると、平行する路線の潮止通り北側などにおいて旅行速度が改善。



※周辺道路の分析は、道路交通センサス対象区間(県道以上)のため、サンプル数としては充足しているが、本比較は県道未満の道路を対象としているためのサンプル数が少なく、一部マッチングされていないリンクがある点に留意



出典：国土地理院地図を加工して使用

(データ)ETC2.0プローブ 様式1-2よりマップマッチング処理
【通行止め10か月後】2025/11/17(月)～21(金) 17～19時
【2026年7月末時点】2026/7/27(月)～31(金) 17～19時
※差分図は前後のいずれかで欠損がある区間は着色なし

生活道路の安全対策の実施について

○生活道路の安全対策について、学校関係者等へのヒアリングや安全点検を実施し、その結果を踏まえ、交通安全対策工事を実施。



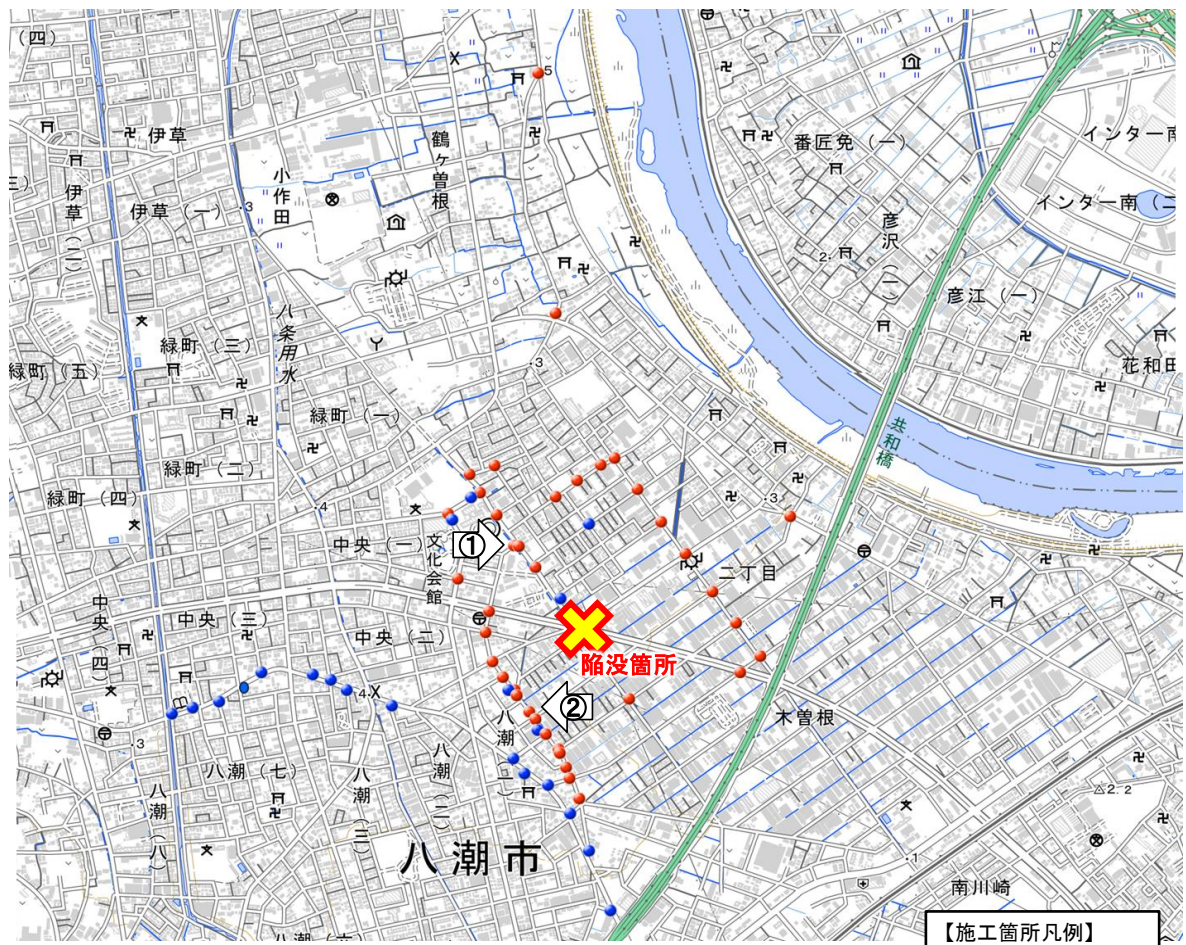
① 路面標示



② ラバーボール



③ 路面標示



出典：国土地理院地図を加工して使用

【施工箇所凡例】

- : 前回検討会まで
- : 今回増工箇所